

あいむ'89 2018年4月号

アイムキネマの会

ドキュメンタリー映画「獄友」を、みました

主人公は5人。袴田事件の袴田巖さん、狭山事件の石川一雄さん、布川事件の桜井昌司さんと杉山卓男さん、足利事件の管家利和さん。そして ヒロインは、袴田秀子さん。

私は、秀子さんに興味をもって、ぜひこの映画を観たいと思っていた。だって、50年もの間、弟の無実を信じて署名活動や接見を続けて、80歳をこえた今も弟の巖さんの世話と活動を支えている。弟の無実を信じて闘うなんて、すごい！

これ書いていて、気づいたけど、信じているから・・・闘うんだね。

信じているから深く詳しく調べて、巖はやってない とわかったんだね。信じるだけじゃなくて、行動してみたわかったんだね。まして、表舞台で活動しているのに、普通。

一緒に映画を観た友人が、「なんであるのころ、こんなに冤罪が多いのかね。」と呟いた。

調べました。

狭山事件がおきる1ヶ月前に、「吉展(よしのぶ)ちゃん事件」(4才の男の子が、誘拐され殺された事件、そのころ私は、10才、この誘拐事件は良く覚えている)がおきていた。国会で追求されて、当時の首相 池田勇人(なつかしい)が、「なんとんでも、早く捕まえます」みたいなことを 答弁していた。そんなこんなで狭山事件も袴田事件も布川事件は、デッチ上げでもいいからと犯人逮捕となつらしい。



はよう！」と言う。袴田巖さんは、死刑判決がでてから40年もの間、毎日毎日恐怖と絶望を味わ



っていた(ひどいはなしだけど、死刑が確定してから、仮出獄される年数がながいギネスナンバーワン)。

そして、拘禁状態は続いているが、少しづつ外出したり、散歩したり(10キロ減量したらしい)自由の生活をとりもどしている、ように見える。

しかし、袴田巖さんはまだ無罪じゃない！ 大川 和恵(元 玉川小)

◆「獄友」5月18日までポレポレ東中野で上映中 (上映後、金監督と→)

※映画写真とポスターは、許可を得て掲載しています。



コト向かふオマプリ

レ
ニ
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百